

# 社会の対応状況

東北大学災害科学国際研究所

佐藤翔輔

令和7年12月8日青森県東方沖の地震・津波に関する速報会  
2025年12月10日 @オンライン

# 現在(2025年12月10日時点)の 社会の対応状況

- 青森県東方沖の地震の発生
  - 震度6強にも関わらず、主だった家屋倒壊がない
  - 震度6強にも関わらず、負傷者は出たものの、死亡者(直接死)はいない
    - 地震工学, 人的被害研究の面から検証の必要性
  - デマ情報がSNS等で多数発生しているものの、大きな混乱はない
    - ★ユーザーのリテラシー向上?
    - ★各機関のファクトチェック体制の効果?
- 後発地震注意情報の発表
  - 地震前の認知度が低かったにも関わらず、大きな混乱は生じていない。
  - 南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」の発表の際には、様々な混乱が生じたにも関わらず、大きな混乱はなく、一部を除いて社会経済活動も継続している(海上作業停止やレジャーキャンセルの事例はあり)。
    - ★東北地方太平洋側の多数の経験(直前のカムチャツカ地震を含む)の蓄積?
    - ★政府・自治体＋マスメディアからの精力的な事後発信
    - ★各市町村の地域防災計画における後発地震注意情報発表時の事前想定

# 2023年12月 時点の 後発地震 注意情報の 認知の状況

NHK

「後発地震注意情報」運用1年  
普及・理解進まず

NHK アンケート調査

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

名称 聞いたことがあるか



半数近くが  
“どう行動したらいいか  
知らない”

NHK  
NEWS

2023年12月16日, NHK ニュース7  
調査監修: 東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔

(%)

対象地域在住1,000人に  
先月 ネットでアンケート

# 取るべき防災対応

## 日頃から地震の発生に備えよう

### 家具の固定



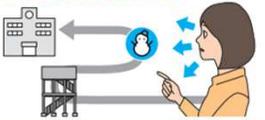
### 非常用持ち出し袋の準備



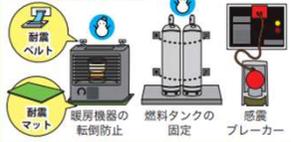
### 水や食料の備蓄



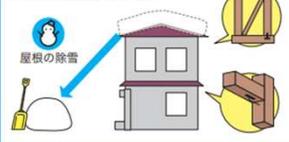
### 避難場所や避難経路・二次避難経路の確認



### 出火防止対策



### 建物の耐震化



特に積雪寒冷地での備え

突発的に発生し得る地震に備え、自らの命、大切な人の命を守るために、日頃から準備しておきましょう

内閣府・気象庁リーフレットより

## 防災対応（住民）

・次の地震により揺れを感じたり津波警報等が発表されたら、直ちに避難することが重要です。  
・地震への備えとして、以下の事項を実施してください。

### 日頃からの地震への備えの再確認

○安全な避難場所・避難経路の確認、ご家族との連絡手段の確認、家具の固定、非常食などの備蓄の確認 など



### 後発地震注意情報の発表に伴う特別な備え

○昼夜問わず津波警報等が発表されても速やかに避難し命を守ることができるよう、すぐに逃げられる態勢の維持や非常持出品の常時携帯 など



を実施した上で、社会経済活動を継続してください。

## 防災対応（住民） ～日頃からの地震の備え～

■ 情報が発表された際に、慌てず防災行動をとるためには、日頃からの地震への備えが大切です。下記のような備えは日頃から行い、情報が発表された際に再確認することが重要です。  
■ このような備えをすることで、強い揺れや津波等から命を守ることに繋がると、地震発生後の避難生活の備えとなります。

### 迅速な避難体制・準備

- ✓ 地域のリーダーマップでどのような危険があるかを確認する
- ✓ 安全な避難場所・避難経路等を確認する
- ✓ 家族との連絡手段を決めておく
- ✓ 非常持出品を準備しておく

### 出火や風物の防止対策

- ✓ 火災警報機の電池切れがないことを確認する
- ✓ 煙感知器や感煙プレーカ―等を設置する

### 空内の対策

- ✓ 窓ガラスの飛散防止対策をする
- ✓ タンス類・本棚の転倒防止対策をする
- ✓ ヘッド上には物を置かない

### 地震発生後の避難生活の備え

- ✓ 水や食料の備蓄を多めに確保する
- ✓ 精神・心を安定させる
- ✓ 携帯電話や携帯電話の予備バッテリー等を準備する

## 防災対応（事業者等）

- 避難場所、避難経路及び避難誘導手順の再確認の徹底や、
- 従業員や施設利用者への情報の正確かつ迅速な伝達など、

揺れを感じたり、津波警報等が発表されたらした場合に、従業員や施設利用者が直ちに避難できる態勢をとった上で、社会経済活動を継続してください。



避難経路、避難誘導手順等の再確認

従業員や施設利用者への情報伝達

## その他の注意事項

○ 偽・誤情報について  
無用の混乱を避けるために正しい情報を見極め、偽・誤情報の拡散などは絶対に行わないでください。（例えば、●月●日に巨大地震が発生するといった、具体的な日時等を指定して地震発生を予告する情報を政府が発表することはありません。）

○ 過度な買いだめ・買い急ぎについて  
経済的・社会的混乱を最小限に抑えるため、食品や生活必需品の必要以上の買いだめ、買い急ぎはお控えください。

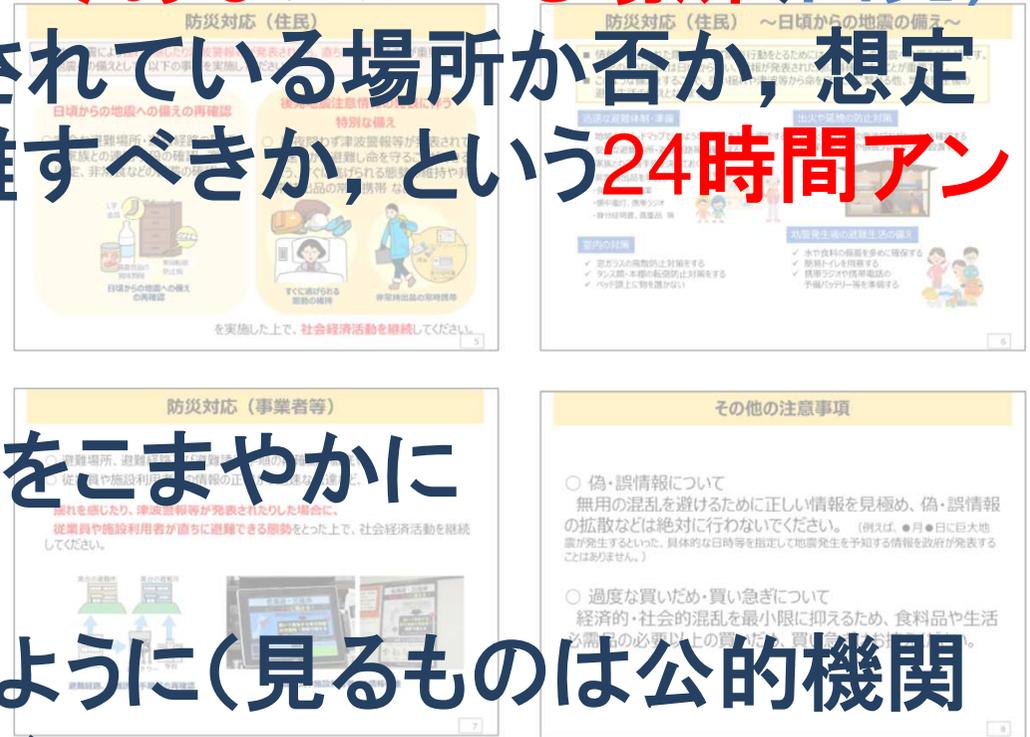
内閣府・気象庁記者会見(2025年12月9日)より

# 十の提案

①【避難】住まい・職場以外でも、今あなたがいる場所（出先、移動中）は、津波浸水が想定されている場所か否か、想定されているとすればどこに避難すべきか、という24時間アンテナを張る1週間に

②【避難】積雪した場合は、除雪をこまやかに

③【情報】SNSをなるべく見ないように（見るものは公的機関のアカウントからの発信のみに）



内閣府・気象庁記者会見(2025年12月9日)より

## NHK青森WEB特集

NHK青森 > 青森WEB特集 > あっぶるワイド > 雪の津波避難 子どもと試しにやってみた

### 雪の津波避難 子どもと試しにやってみた

2024年2月20日

#あっぶるワイド

#記者記事

NHK青森→  
青い森セントラルパーク  
徒歩，子ども同伴

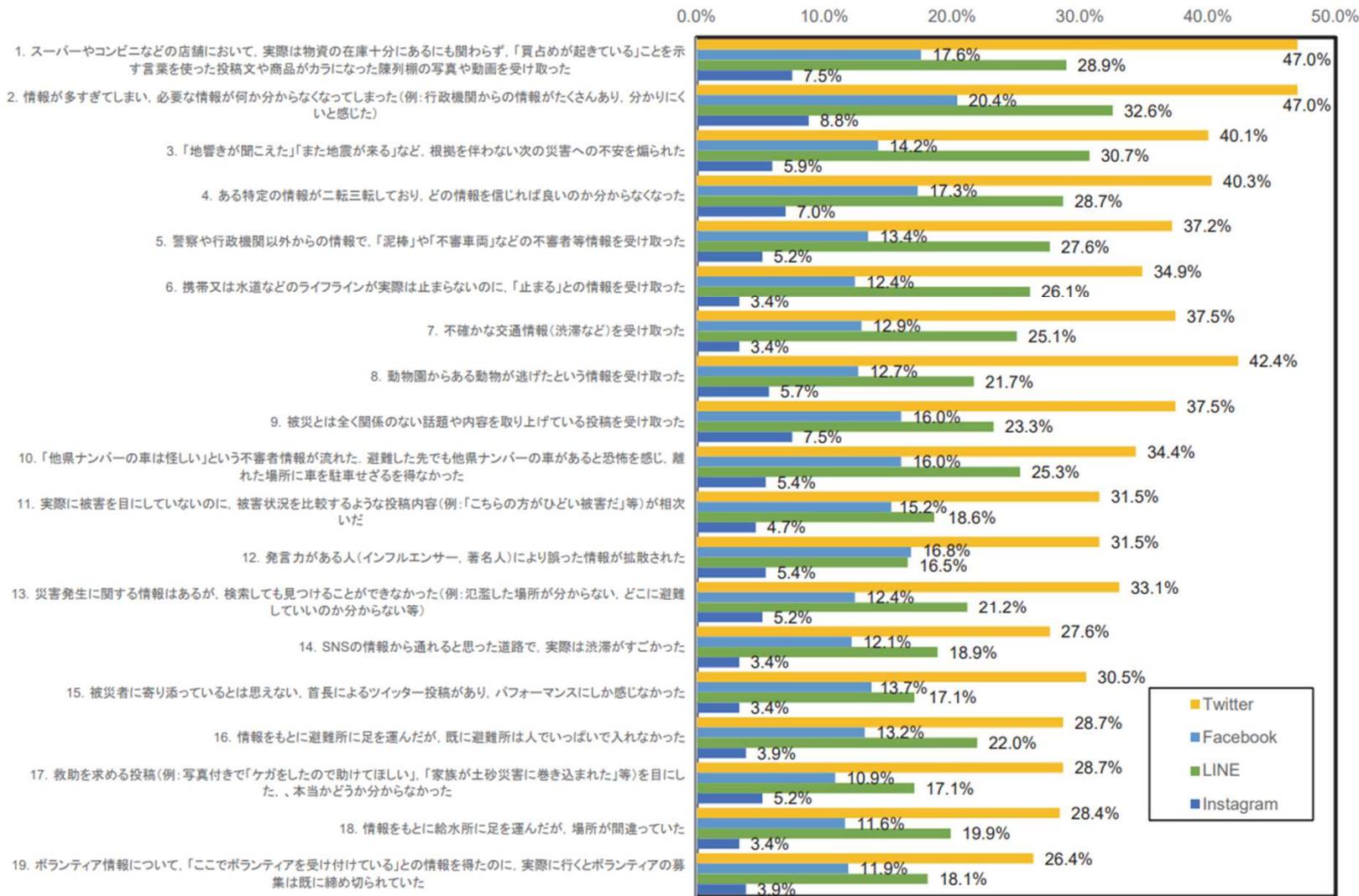
普段:22分  
積雪40cm:51分



2024年2月20日，NHK青森

監修:東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔

# 困った情報 としての SNSの内容 (種類別)



佐藤翔輔, 邑本俊亮, 立木茂雄(2022) :2016年～2020年の災害事例にみる被災地内における災害時のSNSの利用実態, 自然災害科学, Vol. 41, No. 2, pp. 107-120

# 今後の調査研究の方向性

- 本地震における**ポジティブな側面**(p.2)の要因の検証
- 後発地震注意情報の**発表1週間の個人・企業の対応経過**の検証
- **夜間避難の実態の再検証**
  - 東北では, 2022年3月16日福島県沖の地震(23:36)以来
    - 上記地震では, 日中発生地震よりも在宅率が高いためか渋滞が助長(佐藤ら, 2023)